



改訂版「ふくせん 福祉用具個別援助計画書」 改訂版「ふくせん モニタリングシート(訪問確認書)」 のご案内

～福祉用具サービスを最も効果的に提供するために～

本会では、ご利用者の状態に応じて、福祉用具の計画的なサービス提供を支援するためのツールとして、2009年に「福祉用具個別援助計画書」を開発。次いで2010年には、計画書に基づく定期の訪問確認により、適切な利用を支援するためのツールとして、「モニタリングシート」を開発しました。そして現在、多くの福祉用具専門相談員がこれらのツールを活用して、質の高い福祉用具のサービス提供に努めています。一方、これらの普及に伴い、より使いやすさを求める様々な意見も寄せられました。本会では、現場で実際に使用する方の意見を尊重しながら、バージョンアップを図るべく研究委員会を設置。1年に亘る検討の結果、この度、改訂版を発行しました。福祉用具関係者の皆様には、より使いやすいものとなりましたので、ぜひ改訂版をお使い頂き、計画の作成、定期の訪問確認にご活用下さい。

また、保険者、ケアマネジャー、介護関係者の皆様には、引き続き「福祉用具個別援助計画書」「モニタリングシート」の普及にご理解とご協力をお願い致します。

● 今回の改訂は以下の趣旨で行っています。 ●

1. 現在、計画書を使っている研修、現場での取り組みが始まっており、現在の書式に関する認識が深まりつつあることから、この書式を前提とした改訂とする。
2. 会員へのアンケート調査で寄せられた意見を取り入れることとする。アンケートでは個別援助計画書、モニタリングシートは1枚であるという「見やすさ」を評価する声が多かったことから、書式を複数枚数にすることは行わない。
3. 個別援助計画書とモニタリングシートとの整合性を図る。
4. 現場で使いやすいものであるとともに、福祉用具専門相談員としてのあるべき方向性、質の向上を考えたものとする。

なお、具体的な修正点はホームページをご覧ください。

<http://www.zfssk.com/>

研究開発プロジェクトチーム委員名簿

● 委員長

白澤 政和(桜美林大学大学院老年学研究科 教授)

● 副委員長

東島 弘子(福祉ジャーナリスト/医療福祉経営学博士)

● 委員

渡邊 慎一(横浜市総合リハビリテーションセンター医療部理学・作業療法課長/作業療法士)

加島 守 (高齢者生活福祉研究所所長/理学療法士)

岩元 文雄(株式会社カクイックス ウイング代表取締役社長)

西野 雅信(千葉県福祉ふれあいプラザ・介護実習センターマネジャー)

肥後 一也(株式会社カクイックス ウイング宮崎営業所長)

野村 幸司(株式会社ヤマシタコーポレーション名古屋ショールーム係長)

お問合せ先

一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会

〒108-0074 東京都港区高輪3-19-20 高輪OSビル9F

TEL:03-3443-0011 FAX:03-3443-8800

URL:<http://www.zfssk.com/> Email:info@zfssk.com

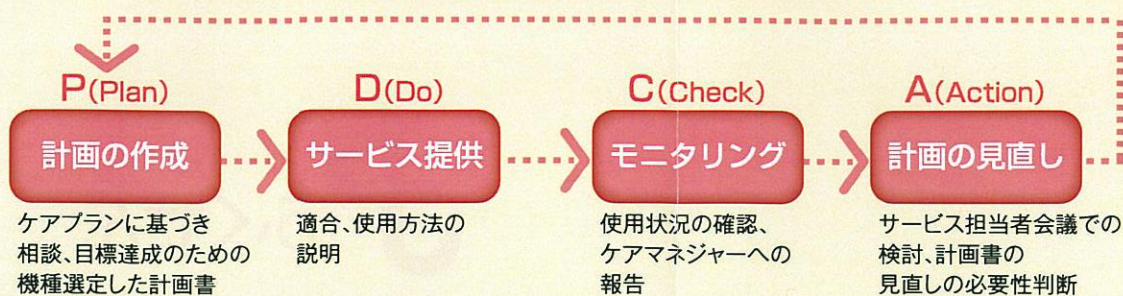
「ふくせん 福祉用具個別援助計画書」と「ふくせん モニタリングシート(訪問確認書)」は
本会サイトからダウンロードできます。

www.zfssk.com

改訂版 ふくせん福祉用具個別援助計画書

福祉用具専門相談員の主な業務は、ご利用者の相談に応じ、その方の自立に役立つ福祉用具を選定。利用開始時には適切な説明と、その方の状態等に応じた適合を行うと共に、定期的モニタリングで継続的にご利用者を支援していくことです。そして何より大切なのは、これら一連の業務を計画的に行うこと。「ふくせん福祉用具個別援助計画書」は、この計画的なサービス提供を支援するツールです。ケアプランに基づき、福祉用具による利用目標を設定し、この実現のために必要な福祉用具と、その選定理由を明確にします。現在、作成は義務化されていませんが、サービスの質の向上につながることから、義務化を求める動きが高まっています。

福祉用具の支援プロセス



福祉用具による利用者の支援では、利用計画の作成(P)、適合と説明、そして実際の利用(D)、定期的モニタリング(C)、計画の見直し(A)という、PDCAサイクルを適切に実施することが大切です。「福祉用具個別援助計画書」(P)、「モニタリングシート」(C)は、このPDCAサイクルの効果的な実施のためのツールです。これを確実に実施することは事故の防止に役立ちます。

改訂版 ふくせんモニタリングシート(訪問確認書)

モニタリングは、利用者宅への訪問等により、利用状況を確認する行為。そして「ふくせんモニタリングシート」は、この利用状況の確認を効果的に行うためのツールです。ご利用者の心身状態や環境の変化、満足度や希望などを確認します。これらを勘案して、計画に示した利用目標が達成されているかを判断。必要に応じ、ケアマネジャーに相談のうえ計画書の見直しにつなげます。福祉用具貸与の良さは利用者の変化に応じた機種変更ですが、モニタリングはこの仕組みを担保する大切な業務です。特に福祉用具による事故が注目される中、適切なモニタリングの実施は、事故防止につながることから、確実な実施が求められています。

ふくせん福祉用具個別援助計画書

【基本情報】

利用目標、選定に必要な利用者の情報をこちら(基本情報)に記載する

ふくせん福祉用具個別援助計画書(基本情報)					
フリガナ	性別	生年月日	年齢	介護度	認定期間
ご本人氏名	様	M・T・S 年 月 日			～
住所					TEL
支援事業所					担当ケアマネジャー
ご相談内容	相談者	ご本人との関係	相談日		
ケアマネジャーとの相談記録					ケアマネジャーとの相談日

身体状況・ADL (年 月) 現在		介護環境
身長	cm 体重 kg	他のサービス利用状況
寝返り	□ つかまらな いでできる □ 何かにつかま ればできる □ できない	家族構成/ 主介護者
起き上がり	□ つかまらな いでできる □ 何かにつかま ればできる □ できない	利用している 福祉用具
立ち上がり	□ つかまらな いでできる □ 何かにつかま ればできる □ できない	障害日常生活自立度
歩行	□ つかまらな いでできる □ 何かにつかま ればできる □ できない	認知症の日常生活自立度
移乗	□ 自立(介助なし) □ 見守り等 □ 一部介助 □ 全介助	特記事項
座位	□ できる □ 自分の手で支 えればできる □ 支えてもらえ ればできる □ できない	ご本人の気持ち、 今困っているこ と(福祉用具で 期待することなど)
移動	□ 自立(介助なし) □ 見守り等 □ 一部介助 □ 全介助	
排泄	□ 自立(介助なし) □ 見守り等 □ 一部介助 □ 全介助	
入浴	□ 自立(介助なし) □ 見守り等 □ 一部介助 □ 全介助	
その他		
疾病		
麻痺		

居宅サービス計画		住環境
ご本人様及びご家族の生活に対する意向	ご本人様ご家族	□ 戸建 □ 集合住宅 (階) (エレベーター □ 有 □ 無) 例: 段差の有無など
総合的な援助方針	必要に応じて記載 ・居間と廊下の段差 ・外出の際のアプローチ など	

【利用計画】

福祉用具の利用に関して、目的、理由、留意点などを記載
ご利用者、ご家族へ切り取ってこちら側(利用計画)のみ渡しても可

ふくせん福祉用具個別援助計画書(利用計画)	
ご利用者: 様	管理番号 作成日
生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	福祉用具利用目標
居宅サービス計画書を転記	・居宅サービス計画書の目標に則って福祉用具としての利用目標を記載 ・期間は適宜必要に応じて

選定福祉用具(レンタル・販売)		納入予定日: 月 日
品目	単位数	選定理由
機種(型式)		
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		

ご利用者、ご家族が読んでわかるように略語は使わない
《記載例》
・操作説明はご家族だけでなく、普段使われるヘルパーさんにもご理解いただけるようにする
・ベッド柵は、ご本が退院した時点で改めて検討する など

以上、福祉用具個別援助計画書に基づき、サービス提供を行います。

ご本人・ご家族への説明・同意	年 月 日	同意署名
法人名称:	() 営業所	担当者 ()
住 所:	TEL:	FAX:

ふくせんモニタリングシート(訪問確認書)

【お話を伺った人】

・どなたからお話を伺ったか、明確にするため
・□その他()にホームヘルパーAさんなどと記載

ふくせんモニタリングシート(訪問確認書)					
フリガナ	支援事業所	管理番号	訪問 電話	実 日 月 年 AM・PM	訪問 電話
利用者氏名	様	介護度	認定期間	前回 月 年	次回 月 年
利用目標	【利用目標】 ・個別援助計画書に記載した目標を転記 ・訪問確認時は、個別援助計画書を必ず持参する 【点検結果】 点検が済みの場合、問題のなし・ありを				
利用福祉用具(品目)	利用開始日	使用状況	点検	点検結果	備 考
機種(形式)		利用開始日	点検	点検結果	
①					
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					
身体状況の変化	□ なし □ 改善 □ 悪化	生活状況の変化	□ なし □ 改善 □ 悪化	【ご家族の状況】 ・ご家族の介護負担が増えた ・家族が仕事をできるようになったり、不在となるが多くなった ・夜間の介護疲労と不安	
お気持ちの変化	□ なし □ 改善 □ 悪化	ご家族の状況の変化	□ なし □ 改善 □ 悪化		
ご利用者・ご家族への聞き取り					
使いにくさ使用中に困ったこと	「リフトやベッドのリモコンなど、福祉用具の使い方を忘れた」、「操作方法が難しい」などの使いにくさや困った際の内容を聞き取り記載				
ご利用者・ご家族の希望など					
目標達成度	□ 達成 □ 一部達成 □ 未達成 □ 再検討	【目標達成度】 ・個別援助計画書の利用目標が達成されているかを、ご利用者やご家族の希望も伺った上で総合的に見た結果を【今後の方針】に記載、(福祉用具の見直しの必要性)のなし・ありを			
今後の方針					

「お気持ちの変化」前向きになったなど

専門相談員の目から見た判断ではなく、ご利用者やご家族の意見や意向を聞き取る

【総合確認の結果】
・『現在お使いのベッド・柵の他に立ち上がり支援の用具が必要と思われるのでケアマネジャーにご連絡をしたいと思います。』など
・上記【今後の方針】の他、使用時の注意など
ご利用者やご家族に渡す部分なので、簡単明瞭かつわかりやすく

事業所:	作成者:	住 所:	連絡先:
以上、利用後の訪問確認 □ 電話確認 □ 行いました 年 月 日 【□ 訪問確認 □ 電話確認】 訪問確認を原則とするが、状況によって、電話で確認した場合は電話確認を			